

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	● 研究の名称 大腿骨近位部を含んだ立位全脊柱 X 線写真(CR)を用いた膝屈曲角度予測法の検証 ● 研究の対象 浜松医科大学附属病院にて、2020年3月31日までに全脊柱レントゲン像撮像時に下肢全長レントゲン像を撮像した症例。 ● 研究の目的 人間は、各自固有の正常全身骨配列(アライメント)を持ち、そのアライメントのもとで立位姿勢をとると、最も少ない筋エネルギー消費で楽に立位を維持できる。全身骨アライメントは脊椎関連の症状や ADL 障害と密接に関連するので、この評価は、あらゆる脊椎疾患の診断や治療計画のためには欠かせない検査項目となっている。しかしながら、これまでの全脊柱 X 線像では頸椎から骨盤までしか撮影することが出来ず、膝屈曲など下肢の計測を同時に実施することができなかった。本研究の目的は、頸椎から骨盤および大腿骨の一部を含めた従来型 X 線像から膝屈曲角(pKF)を推定し、その推定値が下肢全長単純 X 線像から計測した膝屈曲角度(rKF)と比較し、pKF の精度を検証することである。従来の頸椎から骨盤までの全脊柱 X 線像で下肢アライメントが推測できれば、下肢全長 X 線像を撮像しなくとも、下肢代償作用の重要パラメータである膝屈曲角の推定が可能となり、従来より低被曝で脊柱変形評価が可能となる。 ● 研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 2023 年 3 月 31 日まで ● 他の機関に提供する場合には、その方法
-----------------------------------	---

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	当院の担当者が X 線像から必要なパラメータを計測し、そのデータを電子化して送付します。データは匿名化します。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	● 研究に使用する試料・情報： 情報： 手術件数と合併症発生数を調査し、学会指定の WEB アンケートフォームに入力します。合併症発生例については、その詳細をアンケート調査フォームに登録します。
利用する者の範囲	● 共同研究機関の名称及び研究責任者 日本側彎症学会 成人脊柱変形・アライメント委員会 医療法人愛仁会 新潟脊椎外科センター 長谷川 和宏 名古屋市立大学大学院医学研究科 整形外科 水谷 潤 水谷潤、 浜松医科大学整形外科 長寿運動器疾患教育研究講座 大和 雄 JA 愛知厚生連 江南厚生病院 整形外科 金村徳相 国家公務員共済組合連合会 九段坂病院 整形外科 大谷和之 日本側彎症学会会員の所属施設のうち参加希望施設
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	● 研究責任者 日本側彎症学会 長谷川和宏（日本側彎症学会成人脊柱変形・アライメント委員会 委員長）
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールをお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：長寿運動器疾患教育研究講座 担当者：大和 雄 TEL：053-435-2299 FAX：053-435-2296 E-mail：yamato@hama-med.ac.jp